



取扱説明書

このたびは弊社製品Meow3をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に本マニュアルをよくご覧ください。また、本マニュアルは車両
を保有している間、大切に保管してください。

製品保証については、P.3およびP.23にご案内があります。

CONTENTS

■はじめに	P.3
■内容物の確認	P.4-5
■各部の名称	P.6
■組み立て、調整	P.7~11
■デカールの貼り付け	P.12
■バッテリーの充電	P.13
■メインスイッチ&インジケータランプ	P.14
■パワー調整キー	P.15
■走行前の点検	P.16
■操作方法	P.17
■転倒センサー	P.18
■保管とお手入れ	P.19
■ブレーキの点検、調整	P.20
■トラブルシューティング	P.21
■主要諸元	P.22
■製品の保証	P.23

はじめに

Meow3は、ランバイクからのステップアップとしてデザインされたキッズ用電動バイクです。必ず、隔離された安全な場所で、保護者の方の立ち会いのもと、ヘルメット、プロテクターを装着の上、走行してください。

ご使用になる前に、下記QRコードにアクセスし、ユーザー登録の上、製品保証を有効化してください。QRコードが読めない場合は<https://www.yotsubakids.jp/meow3>にアクセスし、ページ下部「ユーザー登録はこちら」からお願いします。



製品保証アクティベート用
ユーザー登録ページ



重要

Meow 3 は競技専用オートバイに分類されます。

絶対に公道では走行しないでください。

一般公道（道路法に規定される道路、道路運行法に規定される自動車道および、一般交通の用に供するその他の場所）または人や車が自由に出入りできる場所も一般の道路とみなされます。

走行可能なパーク情報は随時ホームページにてご紹介しています。

www.yotsubakids.jp/parklist2023

内容物の確認

パッケージの中には、以下の内容物が入っています。細かい部品もありますので、紛失にご注意ください。

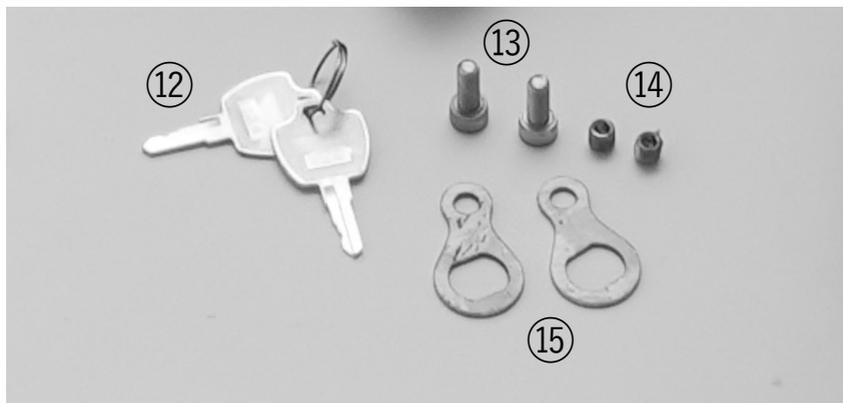


※写真は16インチモデルです

- | | | |
|-----------|----------------|----------------|
| ①本体 | ⑤フットペグラバー (2個) | ⑨前輪 |
| ②シートクッション | ⑥フットペグパイプ | ⑩アクスルシャフト |
| ③ゼッケンプレート | ⑦充電器&コード | ⑪カラー&ナット (各2個) |
| ④ハンドル | ⑧デカール (5枚) | |

内容物の確認

パッケージの中には、以下の内容物が入っています。細かい部品もありますので、紛失にご注意ください。



⑫キー（2本）

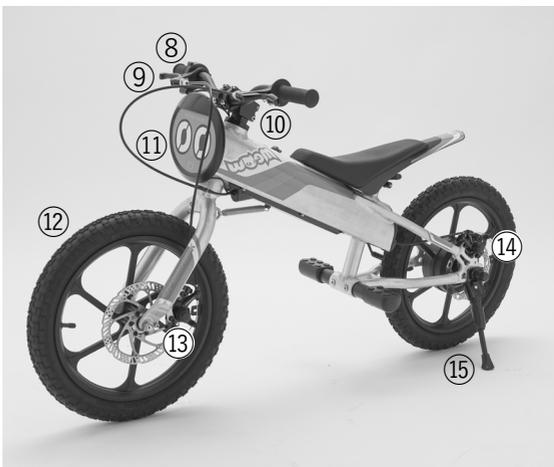
⑬前輪固定プレート用ボルト（2本）

⑭フットペグパイプ固定用イモネジ（2本）

⑮前輪固定プレート

各部の名称

※写真は16インチモデルです



- ①ハンドルバー&ステム
- ②シートクッション
- ③シートベース
- ④シートポストクイックリリース
- ⑤後輪
- ⑥モーターケーブル
- ⑦フットペグ
- ⑧スロットル
- ⑨フロントブレーキレバー
- ⑩リアブレーキレバー

- ⑪ゼッケンプレート
- ⑫前輪
- ⑬フロントブレーキ
- ⑭リアブレーキ
- ⑮サイドスタンド
- ⑯メインスイッチ&インジケーター
- ⑰パワー調整キー
- ⑱充電ポート
- ⑲ステアリングサポートスプリング

組み立て、調整

組み立て、調整作業は専門的な内容を含み、不完全な場合は走行中の事故に繋がります。ご自身での組み立てに不安がある場合は、販売店にて組み立て調整を行うことをおすすめします。

また、日常の点検、調整のための記載も含まれておりますので、保護者の方も必ず本項に目を通しておいてください。

※説明に使用している写真は16インチモデルですが、12インチモデルも同様の内容です。

組み立て、調整に必要な工具

- ・スパナ、メガネレンチ 8mm、10mm、17mm、18mm（モンキーレンチでも代用可）
- ・六角レンチ 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm
- ・空気入れ（先端が小ぶりのもの）
- ・+ドライバー No.2

ハンドルバーの取り付け（仮固定）



4mmのレンチでステムクランプボルトを緩め、ステムクランプ前側を取り外します。



ハンドルバーを置き、再びクランプを取り付けます。仮固定ですので、ボルトは軽く締め付けてください。

前輪の取り付け①



車両を上下逆さまに置いてください。



5mmのレンチでフロントブレーキの固定ボルトを緩め、ブレーキキャリパーが左右に動く状態にしてください。



前輪にアクスルシャフトを通し、左右にカラーをセットしてください。

組み立て、調整

前輪の取り付け②



前輪をフォークの凹に合わせて置きます。ブレーキディスクが左右のブレーキパッドの間におさまるようにしてください。



アクスルネジの飛び出し量が左右で均等になるように調節してください。



ひょうたん型のプレートと固定用の小ネジを取り付けてください。

前輪の取り付け③



左右からキャップボルトを取り付け、均等に締め付けてください。

参考締め付けトルク：25N・m

フットペグの取り付け



フットペグパイプを差し込みます。左右の区別はありません。



フットペグラバーを取り付けます。左右の区別はありません。パイプの凹形状にラバー内部の突起がしっかりと噛み合うように強く押し込んでください。



フットペグの平面が上方を向くように、また左右均等に位置調整します。3mmのレンチを使用し、固定用のイモネジを締め付けてください。

組み立て、調整

ハンドルバーの本固定



前輪とハンドルバーが真上から見て直角になるように調整します。ハンドルバーの前後の傾き調整は、横から見て垂直を基準とし、ライダーの好みで前後にやや傾けます。



ステムクランプボルトを4本交互に均等に締め付けます。

参考締め付けトルク：8N・m



ステムのコラムクランプボルトを左右交互に均等に締め付けます。

参考締め付けトルク：12N・m

レバー位置の調整と固定



下側のボルトを緩め、ブレーキレバーの高さを調整します。水平よりやや下向きが標準的な位置です。調整後、再びボルトを締め付けてください。

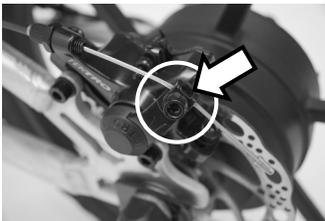


ブレーキレバーとスロットルボディが干渉する場合は、下側のイモネジを緩めて、スロットルボディの位置を調整してください。調整後、イモネジを締め付けてください。



矢印の小ネジを右回しに締め込むと、レバーが近くなります。お子さまの手の大きさに合わせて微調整してください。

ブレーキの調整 (写真はリア側ですが、フロント側も同様の作業です)



矢印に示すワイヤー固定ボルトを5mmのレンチで緩め、ブレーキの「引きしろ」を調整します。ブレーキのアームを反時計回りに回転させ、カチッと止まる位置から1mm程度戻した位置で固定ボルトを締め付けてください。



ブレーキレバーを握り、適度な握り量でブレーキが効くことを確認した後、レバーを握ったままの状態でも囲まれたボルトを交互に締め付けて行き、ブレーキキャリパーの位置を固定してください。

参考締め付けトルク：8N・m



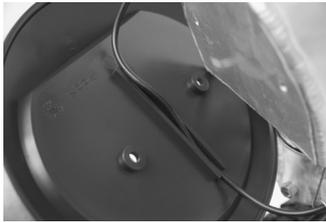
銀色のアジャスターを反時計方向に回転させると、ブレーキの遊びが少なくなります。調整後、ロックリングを締め付けて固定してください。

組み立て、調整

ゼッケンプレートの取り付け



+ドライバーを使い、皿ネジを取り外します。



ゼッケンプレートの裏面中央のミゾにスロットルワイヤーを入れ込み、プレートの2つの穴とフレームのネジ穴の位置が合うようにセットしてください。



皿ネジを締め付けて、ゼッケンプレートを固定します。固定後、ハンドルを左右に動かし、各ワイヤーがどこにも引っかからずにスムーズに動作することを確認してください。

シートクッションの取り付け



シートベースの表面の油分、汚れを清掃してください。



シートクッション裏面の両面テープの裏紙をはがしてください。



シートクッション裏面の前部のくぼみをシートベースの前端に合うようにし、後端が左右にズレないように注意しながら、密着させてください。

シート高さの調整



クイックリリースのレバーを引き起こし、シートポストを開放します。



シートを上下させ、適切な高さに調整し、クイックリリースのレバーを押し込んで固定します。調整は80mm以内の範囲で行ってください。

組み立て、調整

前後輪の空気



前輪、後輪のタイヤに空気を入れます。
(特に12インチモデルは)先端の小さな空気入れを使用するか、右記のようなアダプターを使用すると作業が容易です。

推奨空気圧：200-250kPa



DRCエアバルブエクステンション
ホース付き

品番：D58-12-110

デカールの貼り付け

車体表面の油分、汚れを清掃した後、下図を参考にデカールを貼り付けてください。番号の無いものはお好みで貼り付けてください。

また、本製品は金属の風合いをお楽しみいただけるよう、フレームに塗装や表面処理を施しておりません。デカールを貼る前に研磨を施し、お好みの艶に仕上げた後にデカールを貼ることで、より個性を引き立てることができます。

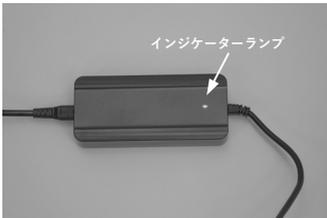


バッテリーの充電

※必ず電源オフの状態での充電を行ってください。



フレーム下面の充電ポートのフタを回転させ、ポートを露出させます。



コードを接続し、家庭用100Vコンセントにプラグを差し込みます。

インジケータランプが緑に点灯します。



充電ポートに充電器のコネクターを差し込んでください。

充電器のインジケータランプが赤く点灯し、充電を開始します。

充電が完了すると、インジケータランプが緑に戻ります。

充電後は充電ポートのフタを閉めてください。



ご注意

- ・必ず、同梱の専用充電器を使用してください。
- ・充電中は発熱します。屋外で充電する際は、日陰で行ってください。
- ・雨のかからない場所で充電してください。
- ・過充電防止の機能が備わっていますが、安全のため、充電が完了次第、充電器を取り外してください。
- ・充電器に付属しているコードは専用品です。それ以外のコードを使用しないでください。

メインスイッチ&インジケータランプ

メインスイッチを押し込むと、インジケータランプが青く点灯し、走行可能な状態であることを示します。



インジケータランプの状態説明は以下の通りです

- ①常時点灯.....バッテリー残量は100%から約40%です。
- ②ゆっくり点滅..... バッテリー残量は約40%以下です。
- ③小刻みに点滅..... 転倒センサー（後述）が作動中です。
- ④消灯..... バッテリー残量は0%です。走行は終了です。

※ブレーキをかけながらアクセルを回したり、急な上り坂で負荷が高い時にも一時的に②のゆっくり点滅状態になることがあります。一度電源をオフにし、再度オンにすると正常に戻ります。

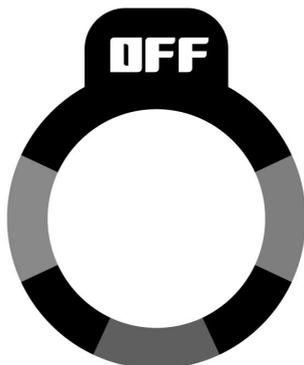
パワー調整キー

鍵穴にキーを差し込み、回転させることで、パワーと速度を3段階に調整することができます。

必ず、保護者の方がキーを管理し、調整後はキーを抜き取ってください。

OFF

保管時はこのポジション



はやい (赤)

最高速度：約 29km/h

パワー：100%

ゆっくり (緑)

最高速度：約 7km/h

パワー：30%

ふつう (青)

最高速度：約 18km/h

パワー：60%



ご注意

・保護者不在時に誤ってお子さまだけで走行してしまう危険を防止するため、保管時はキーを「OFF」のポジションに戻し、キーを抜き取り、保護者の方がキーを管理してください。

走行前の点検

走行前には、毎回、保護者の方が車両を点検し、安全を確認してください。

- ①前後ブレーキは効くか
- ②パワーモードは適切か
- ③パワー調整キーは抜いてあるか
- ④タイヤの空気は入っているか
- ⑤シートポストの固定は十分か
- ⑥ステアリングのガタはないか
- ⑦各部のネジの緩みはないか
- ⑧充電ポートのフタは閉じているか
- ⑨ワイヤー類が引っかかっていたり、損傷はないか
- ⑩スロットルはスムーズに回転するか
- ⑪モーターケーブルのコネクターはしっかり刺さっているか

操作方法



メインスイッチを押し込み、電源をオンにします。



パワー調整キーでパワーモードを選択し、選択後はキーを抜き取ってください。



スロットルを手前にひねると、開度に応じて後輪が駆動します。

慣れないうちは、保護者の方が手を添えて、ゆっくりとスロットルを回すように補助してあげてください。



減速、停止する時は、スロットルを戻し、左右のブレーキレバーを握ってください。

コーナリング中に右のブレーキ（＝フロントブレーキ）を強く握りすぎると転倒の恐れがあるため、慣れないうちは左のブレーキを優先的に使うようアドバイスをお願いします。

転倒センサー

本機には安全のため、転倒を感知した際に自動的にモーターへの電力をカットするジャイロセンサーが搭載されています。

転倒センサーが作動中はインジケータランプが小刻みに点滅します。

仮にスロットルを開けた状態で車体を起こしてもモーターは作動しません。車体を起こした後、スロットルを一度全閉に戻すと、センサーが解除され、走行が可能になります。



ご注意

- ・転倒センサーは左右方向にのみ有効です。前後回転方向に対しては作動しません。
- ・上下逆さまの状態になると、センサーは車体が立っていると判断し、電力のカットを行いません。前転または後転し、そのまま上下逆の状態でも静止した場合、後輪が回転し続ける恐れがあります。

保管とお手入れ

- ・シャワーでの水洗いの際は、車両を立てた状態で行ってください。車両を寝かせた状態や、逆さま向けの状態での洗車や、高圧洗車は避けてください。
- ・屋内で保管してください。
- ・長期間保管する際は、バッテリーを半分ほど充電して涼しい場所にて保管してください。
- ・ワックス等の油分がブレーキパッドやブレーキディスクに付着しないようにしてください。



ご注意

- ・夏季の車内での保管は厳禁です。リチウム電池は高温により劣化が早まったり、発火の危険があります。
- ・モーターは防水処理されているため、分解できません。ブラシレスモーターのため、基本的には内部のメンテナンスは不要です。
- ・バッテリーは絶対に分解、貫通、破碎、短絡をしないでください。また、60°C以上の高温に晒さないでください。

ブレーキの点検、調整

本機が採用しているブレーキは自転車規格のものです。通常のオートバイのものよりも消耗が早いため、ブレーキパッドの残量はこまめにチェックしてください。

片押しタイプのワイヤー式のため、ブレーキパッドが減った際はブレーキディスクとの隙間が大きくなり、ブレーキの効きが悪くなります。また、ワイヤー調整だけでは右側のブレーキパッドとブレーキディスクの隙間は調整できないため、ブレーキキャリパーを固定するボルトを緩め、左右のブレーキパッドが均等にブレーキディスクに当たるように調整してください。

【参照】 P.9 ブレーキの調整

トラブルシューティング

故障かなと思ったときは以下の表をご確認ください。内部機器の修理、交換に関しては販売店（あるいは通販にてお求めの場合は弊社）までご相談ください。

症状	該当部品、確認箇所など
電源が入らない	バッテリー残量不足
	電源スイッチの故障
	バッテリー配線のコネクタの抜け
走行しない	パワー調整キーポジションの確認
	モーターケーブルコネクタの抜け
	スロットルおよびコネクタの故障
パワー、スピードが出ない	バッテリー残量が少ない
	気温が低い
	ブレーキを引きずっている
	タイヤの空気圧が低い
	コントローラーの故障

主要諸元

	Meow3-16	Meow3-12
全長	1225mm	1125mm
全幅	490mm	←
全高	690mm	690mm (650mm)
ホイールベース	824mm	←
最低シート高	470mm	420mm
キャスト、トレール	25° 42mm	25° 31.5mm
フレーム素材	AL6061	←
フォーク素材	AL6061	←
フロントブレーキ	ワイヤー式ディスク	←
リアブレーキ	ワイヤー式ディスク	←
タイヤサイズ	16×2.125	12×2.125
車両重量	14.0kg	12.5kg
最高速度	29km/h	27.5km/h
モーター	ブラシレスハブモーター	←
バッテリー	24V5.2Ah(三元系リチウム)	←
定格出力	350W	←
定格電圧	24V	←
充電時間	約2.5時間	←
走行時間の目安	緑/青/赤 140分/80分/40分	←
許容体重	45kg	←
対象年齢	4歳～	3歳～

※最高速度および走行時間は、ライダーの体重や路面状況、気温、傾斜などの条件により変化します。

製品の保証

製品の保証は、お買い上げの日から1年間です。下記QRコードあるいはURLからユーザー登録を行い、保証の有効化をお願いいたします。



製品保証アクティベート用
ユーザー登録ページ

<https://www.yotsubakids.jp/meow3>

保証の対象になる部位、症状

- ・フレームの溶接不良、割れ、折損
- ・モーターの動作不良
- ・バッテリー不良
- ・各電子部品の動作不良
- ・充電器の不良

保証の対象外の部位、症状

- ・フレームの傷、汚損、酸化による変色
- ・タイヤ、ブレーキパッドなどの消耗部品
- ・転倒による破損



DF DIRT FREAK

489-0005 愛知県中水野町2-30
Tel: 0561-86-8304
E-mail: yotsubamoto@dirtfreak.co.jp